

2011-B					
拠出金・基金の名称:	国際労働機関拠出金				
種 別	イヤーマーク ノン・イヤーマーク				
拠出先の国際機関名: 国際労働機関(ILO)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局国別開発協力第三課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 目的: アフリカの角(ジブチ, エチオピア, ケニア, ソマリア, ウガンダ及びソマリア沖周辺国)では, 2011年に過去60年間で最悪の干ばつによる食糧危機が発生。同地域内において, 約1,330万人が支援を必要としていた。本事業を実施することにより, 持続可能な発展にむけた若者の雇用を創出し, 干ばつの被害によるケニア経済影響を抑制する。 用途: ケニアにおける持続可能な政治, 経済及び環境に向けて, 干ばつの被害を受けている北部地域, 前回の選挙後暴動で混乱のあったリフトバレー及び不法労働者の多いナイロビにおいて, ①労働集約型の丸石を用いた工法で道路, 歩道, 駐車場, 停留所の建設・補修等を行う若者達が所有する中小企業の立ち上げ, 運営, 訓練の支援, ②同中小企業の活動による雇用の創出, 全国レベル, 地域レベルでの関連する教訓や情報の共有, 普及などを行う。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	143,290	1,610	-	1(米ドル) = 89円	100
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義, 成果等に関する我が国としての評価】 ケニアにおいて, 労働集約型の丸石を用いた工法で道路, 歩道, 駐車場, 停留所の建設・補修等を行う若者達が所有する中小企業の立ち上げ, 運営, 能力強化の訓練を支援することで雇用を創出し, 持続可能な社会経済発展への貢献を果たした。					
注: 当該拠出金は, 平成23年度の政府補正予算から支払われた。					